



2022年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社レオクラン
 コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 筒井 照己
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6387-1554

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	25,195	17.3	886	12.7	940	17.5	625	15.9
2021年9月期第3四半期	21,472	36.6	785		800		540	

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 648百万円 (13.9%) 2021年9月期第3四半期 569百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	319.27	317.76
2021年9月期第3四半期	276.31	274.73

(注) 2021年9月期第3四半期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	14,594	5,723	38.2
2021年9月期	12,964	5,159	38.8

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 5,572百万円 2021年9月期 5,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		0.00		40.00	40.00
2022年9月期		0.00			
2022年9月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,759	5.4	750	30.3	800	34.4	520	33.0	265.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	1,960,800 株	2021年9月期	1,960,800 株
期末自己株式数	2022年9月期3Q	79 株	2021年9月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	1,960,721 株	2021年9月期3Q	1,954,721 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の流行に対するまん延防止等重点措置が解除されたものの、経済活動は引き続き制約を受けました。世界経済に眼を転じて、新型コロナの流行の長期化が天然資源や半導体などの産業資材の生産・供給体制に影響を与えているところに、2022年2月に勃発したウクライナとロシアの紛争は石油などの資源価格の高騰を招き、世界経済の先行きに対する不透明感がいっそう強くなっております。

当社グループの主要なお客様となる医療機関は、引き続き新型コロナへの対応を最優先にしておられ、医療体制への負荷は依然として大きく、さまざまな課題が存在しております。新型コロナの患者さまに対する医療と他疾病の患者さまに対する医療との両立、病床の確保と症状に応じた医療機関の役割分担等、地域ごとの適切な医療供給体制の再構築といった眼前の課題の解決に向けた動きに加え、これまで議論されてきた「地域医療構想」の実現に向けて各医療機関の統合・再編を含めた病床転換が進み、新築、増改築を伴う大型の設備投資が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業である医療機関向けのメディカルトータルソリューション事業は、これまでの納入実績を背景に、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売のみならず、最新鋭の医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入や更新に伴う販売を全国に展開しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,195,466千円（前年同期比17.3%増）となりました。営業利益は886,191千円（同12.7%増）、経常利益は940,767千円（同17.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は625,991千円（同15.9%増）と昨年同期比増収増益という結果になりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業は、前連結会計年度に続き、今期も感染の予防対策を講じたうえで積極的に営業活動を展開しております。当連結会計年度は第1四半期連結累計期間への偏重が強かったものの、第3四半期連結累計期間は、ほぼ計画通りの売上高を確保し、前年同期に比べて増収となりました。営業利益については、上半期に若干粗利率の低い2,000百万円超の大口案件を複数件獲得したことにより全体の利益率を押し下げましたが、第3四半期は計画通りに売上高と利益を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,394,936千円（前年同期比18.2%増）、営業利益は822,097千円（同18.8%増）となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業は精度の高い遠隔画像診断を提供すべく、高い診断技術を有する放射線診断専門医を確保することで、安定した業績を維持しております。今年度は取扱高の増加により前年同期比20,578千円と増収となったものの、専門医への業務委託費と人件費が増加したため、営業利益は前年同期に比べて5,316千円減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は503,135千円（前年同期比4.3%増）、営業利益は56,727千円（同8.6%減）となりました。

③ 給食事業

当事業は、前連結会計年度第4四半期の後半における大口顧客の契約解除の影響を埋めるべく、受託施設の新規獲得の営業活動に加え、既存契約施設への取扱い高強化に取り組んでおりますが、未だ回復の途上にあります。売上高は54,524千円の減収、営業利益は24,578千円の減益となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は297,394千円（前年同期比15.5%減）、営業利益は5,223千円（同82.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,622,307千円増加し、13,377,337千円となりました。これは、商品及び製品が164,390千円減少しましたが、現金及び預金が945,944千円、受取手形、売掛金及び契約資産(前連結会計年度末は受取手形及び売掛金)が847,477千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7,579千円増加し、1,217,388千円となりました。これは、有形固定資産が17,013千円、無形固定資産が6,920千円減少しましたが、投資その他の資産が31,513千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,629,886千円増加し、14,594,726千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて989,863千円増加し、7,884,322千円となりました。これは、賞与引当金が67,351千円、未払法人税等が21,578千円減少しましたが、買掛金が979,157千円、その他が128,835千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて76,220千円増加し、986,910千円となりました。これは、社債が8,750千円減少しましたが、役員退職慰労引当金が40,877千円、退職給付に係る負債が34,150千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,066,084千円増加し、8,871,232千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて563,802千円増加し、5,723,493千円となりました。これは、主に利益剰余金が547,562千円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期の通期業績予想に変更はありません。第3四半期連結累計期間終了時点において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、既に通期予想値を上回っています。新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻の影響といった不確定要素はありますが、現時点では当社業績は期初想定どおりに推移していくものと見込んでおります。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合や、紛争による世界経済への影響から、当社事業にも大きな影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,408,721	6,354,666
受取手形及び売掛金	4,820,445	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	5,667,922
商品及び製品	187,184	22,793
原材料及び貯蔵品	1,587	1,568
その他	1,337,528	1,330,875
貸倒引当金	△436	△489
流動資産合計	11,755,030	13,377,337
固定資産		
有形固定資産	393,873	376,859
無形固定資産	90,822	83,901
投資その他の資産	725,114	756,627
固定資産合計	1,209,809	1,217,388
資産合計	12,964,840	14,594,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,890,021	5,869,178
1年内償還予定の社債	34,600	17,500
未払法人税等	205,905	184,327
賞与引当金	114,717	47,366
役員賞与引当金	24,700	12,600
その他	1,624,514	1,753,350
流動負債合計	6,894,459	7,884,322
固定負債		
社債	92,500	83,750
退職給付に係る負債	351,457	385,607
役員退職慰労引当金	386,080	426,968
その他	80,651	90,584
固定負債合計	910,689	986,910
負債合計	7,805,148	8,871,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,369	539,369
資本剰余金	498,944	498,944
利益剰余金	3,883,956	4,431,519
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,922,104	5,469,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,718	102,535
その他の包括利益累計額合計	111,718	102,535
非支配株主持分	125,868	151,291
純資産合計	5,159,691	5,723,493
負債純資産合計	12,964,840	14,594,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	21,472,031	25,195,466
売上原価	19,127,581	22,563,911
売上総利益	2,344,449	2,631,555
販売費及び一般管理費	1,558,453	1,745,363
営業利益	785,995	886,191
営業外収益		
受取利息	564	555
受取配当金	5,580	3,216
保険解約返戻金	7,074	54,000
その他	5,251	1,402
営業外収益合計	18,471	59,175
営業外費用		
支払利息	1,205	852
支払保証料	654	463
シンジケートローン手数料	1,499	1,499
その他	435	1,783
営業外費用合計	3,796	4,600
経常利益	800,670	940,767
特別損失		
固定資産売却損	1,335	—
特別損失合計	1,335	—
税金等調整前四半期純利益	799,335	940,767
法人税、住民税及び事業税	256,441	282,829
法人税等調整額	△14,179	524
法人税等合計	242,262	283,353
四半期純利益	557,072	657,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,971	31,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	540,101	625,991

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	557,072	657,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,198	△9,182
その他の包括利益合計	12,198	△9,182
四半期包括利益	569,270	648,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,299	616,808
非支配株主に係る四半期包括利益	16,971	31,422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。尚、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	20,637,555	482,556	351,919	21,472,031	—	21,472,031
セグメント間の内部売 上高又は振替高	128	—	—	128	△128	—
計	20,637,683	482,556	351,919	21,472,159	△128	21,472,031
セグメント利益	691,899	62,044	29,801	783,746	2,249	785,995

(注) 1. セグメント利益の調整額2,249千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,394,936	503,135	297,394	25,195,466	—	25,195,466
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	24,394,936	503,135	297,394	25,195,466	—	25,195,466
セグメント利益	822,097	56,727	5,223	884,048	2,143	886,191

(注) 1. セグメント利益の調整額2,143千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。